

愛媛県若者支援ネットワーク推進事業と現在の県内の支援状況説明

特定非営利活動法人 **e7-7愛媛**

令和5年2月24日
特定非営利活動法人 e7-7愛媛
難波江 任

ひきこもり、ニートの状況

生活困窮状態のバリエーション

生活困窮状態	割合
経済活動困難	53.4%
病気	28.0%
その他メンタルヘルスの課題	24.4%
家族関係・世帯内問題	13.6%
経済不安定状態	12.0%
(多量)消費・浪費	14.2%
認知症の課題	13.8%
社会的孤立(ネット・SNSひきこもり含む)	12.3%
コミュニケーションが苦手	11.8%
認知(思い)	11.6%
専業主婦等	10.8%
住居・不安定	10.3%
ひきこもり	9.2%
本人の能力の課題(関心・習得・理解等)	8.1%
中絶・高校中退	6.6%
生活習慣病の課題	6.6%
DV・虐待	4.6%
貧乏意識	4.4%
アルコール	2.7%
けが	2.6%
割合	2.1%
不登校	2.0%
外国籍	1.1%
その他	0.4%
不明	0.0%

出典)「モデル事業実施自治体における支援実績について(生活困窮者自立支援制度) 全国調査会議 平成 27 年 1 月 26 日」より野村総合研究所作成

自宅に半年以上ひきこもっている「ひきこもり」
 40～64歳 推計613,000人：1.45% (2019年内閣府)
 15～39歳 推計541,000人：1.57% (2016年内閣府)
 計 1,154,000人

7割以上が男性、ひきこもりの期間は7年以上が半数
 高齢化、長期化鮮明
 (内閣府 2019年3月29日発表)

